

# News Letter

2026年

3月

中国四国農政局  
鳥取県拠点

## 女性農業者の交流会を開催しました!!

令和8年2月18日、中国四国農政局鳥取県拠点は琴浦町生涯学習センター「まなびタウンとうはく」において、『「女性はつながるとパワーを生み出す」～女性農業者の交流会～』を開催しました。

この交流会はコロナ禍以降、鳥取県内の農業女子会の活動が停滞していたことから、誰もが自分らしく活躍できる農業の実現に向けて、県内在住の女性農業者同士が交流できる場を設け、女性の活躍を応援するために開催したものです。



参加者の皆さんと記念撮影

当日は14名の参加があり、ランチミーティングを挟みつつ、「農業における日焼け対策」、「鳥取県拠点からの施策説明」、「参加者による意見交換」を行いました。

就農予定の参加者もあり、様々な話題について、初対面同士でも良好な関係が築け、有意義な情報交換の場となりました。

- 株式会社POLA担当者による日焼け対策、基礎的なメイクの講義。ふだん学ぶ機会がない内容ということもあり、皆さん熱心に聞かれていました。



- 意見交換では、作物は違っても同じ農業に携わる女性同士で共感する点が多く、活発に話しができたという好評でした。



- 肌の手入れやメイクの講習・実演は久しぶりということもあり、女性農業者にとって貴重な時間となりました。



- 鳥取県拠点からは、「みどりの食料システム戦略」について説明しました。





# 倉吉メロン、すいか苗作り本格化



## ～丁寧に接ぎ木、大切に苗を育てます～



(台木に穂木を差し込む技術が必要)

倉吉市国府のJA鳥取中央総合育苗センターでは、メロン、すいかの苗作りがピークを迎えています。

当日は、かぼちゃの台木の付け根に器具で穴を開け、プリンスメロンの穂木を差し込む接ぎ木作業が行われていました。

「接ぎ木」とは、異なる植物の葉木をつなぎ合わせ、1つの植物にする苗の元となる作業です。12人の作業員が8時半から17時まで、1本ずつ丁寧に作業を行います。

すいかの接ぎ木は、カンピョウの台木にすいかの穂木を差し込むのが主流です。

## ～苗の状況を見て一鉢一鉢管理～

接ぎ木後、同じ作業員が苗を管理するハウスに行き、水分を十分に浸み込ませたポットに、二人一組で一鉢一鉢植えていきます。

植えてすぐの苗は強い光に弱く、しおれやすいため、ポット全体にシートをかぶせ、3日間そのままにします。その後、朝30分光を当て、苗がしおれかける頃にシートをかぶせます。その作業を徐々に増やしながらか、苗を光に慣らしませ。苗の底に根が生えてきたら、シートをはがし、水をあげながらか苗を育てませ。

その管理を一手に引き受けているのが磯江（いそえ）センター長。毎日苗の生育状況を見ながらか、大事に苗を育てていきます。

## ～本葉が3枚となれば定植へ～



(本葉が2枚となった苗)

接ぎ木から約50日で定植できる苗が育ちませ。

その目安は、本葉が3枚になった頃。ちなみに、最初の本葉は一枚と数えないそうです。

こんなに手間暇かけて接ぎ木され、苗を精魂込めて育てられていたなんて、驚きでした！

1月から始まったメロンとすいかの苗作りが終わると、次は水稻の苗作りが始まり、6月まで続きます。

～JA鳥取中央HP～

<https://www.ja-tottorichuou.or.jp/>



(生育ごとに分けて管理)



(磯江センター長)

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 鳥取県拠点

〒680-0845 鳥取市富安2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

TEL (0857)22-3131(内線613) <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>